


分野別《重点施策》の方向

平成24年11月  広島県

目 次

◇ 新たな経済成長	
■ 創業の活発化・新事業展開の加速	1
■ 新たな成長産業の育成	1
■ アジア市場への参入・獲得(アジア戦略)	2
■ 自立に向けた農林水産業のイノベーション	2
◇ 人づくり	
■ 新たな価値を創造する人材、海外市場の開拓に必要な人材の育成・集積	3
■ 女性の働きやすさ日本一への挑戦	3
■ 若者の定着・就業の徹底支援	4
■ 社会で活躍する人材の教育	4
◇ 安心な暮らしづくり	
■ 信頼される県内医療体制の構築	5
■ 「がん対策日本一」に向けた取組の強化	5
■ 再生可能エネルギーの導入推進	6
■ 防災対策の拡充・強化	6
◇ 豊かな地域づくり	
■ 国内外から多様な人材が集まる魅力ある地域環境の創出	7
■ 国際平和拠点ひろしまの形成	7

これまでの取組

- ◆「イノベーション立県」に係るビジョンを共有し、取組を推進するため、県内産学金官のトップによる「地域イノベーション戦略推進会議」を設置(H24年度～)
- ◆(株)ひろしまイノベーション推進機構による投資(1件、総額約10億円)

H25に向けた
ポイント

《アイデア創出》

- 多様なイノベーションアイデアが生まれる場づくり
 - ・異分野の融合による新ビジネス創出を支援

《事業化支援》

- 多様な創業・新事業展開を効率的に生み出す仕組みの構築
 - ・創業の類型に応じたきめ細かい創業支援環境を整備
- コーディネーター配置によるハンズオン支援
 - ・中小企業のニーズをベースにした共同研究・製品開発をコーディネーターがハンズオンで支援
- マッチングファンド方式による共同研究資金の支援
 - ・企業の共同研究費に応じたマッチングファンド方式の資金支援

これまでの取組

- ◆医療関連分野のクラスター形成に向けたアクションプランの策定(H24.7月)
 - [H32目標] 医療機器等生産額 1,000億円, 医療機器等製造企業数 100社
- ◆企業の販路拡大や研究機器整備等への助成, 産学官による研究会活動を支援
 - [H24目標] 医療機器等生産額 112億円, 医療機器等製造企業数 33社
- ◆新たな観光振興コンセプトに基づく「ひろしまブランド化キャンペーン」や「平清盛観光キャンペーン」を実施, 「瀬戸内 海の道構想」の推進に向けた他県との連携体制構築

H25に向けた
ポイント

- 医療クラスターの形成
 - ・企業の課題解決に向けた活動支援, 医療現場等とのネットワークづくり支援
- 環境浄化関連産業クラスターの形成
 - ・県内企業と海外企業とのマッチングの場の提供
- 国内外の企業誘致活動の積極展開
 - ・企業立地促進助成制度の拡充
- 「観光地“ひろしまブランド”」の定着に向けたプロモーション等の強化
 - ・JR, 市町, 観光事業者等と一体となったデスティネーションキャンペーンの実施
- 「瀬戸内ブランド」の形成に向けたプロモーション等の強化
 - ・瀬戸内6県によるプラットフォーム構築, 広域プロモーションの展開
 - ・「瀬戸内しま博覧会(仮称)」の開催に向けた準備

これまでの取組

- ◆中国内陸部(四川省・重慶市)との経済交流の拡大, 県内企業の進出支援
・「広島・四川経済交流事務所」の開設(H24.5月), 商談会・物産展の開催, 博覧会への出展
- ◆インド タミルナドゥ州への現地調査団の派遣, 香港・マレーシアにおける物産展の開催
- ◆国際定期航空路線の増便
・「広島～上海～成都線」:週7往復→週10往復, 「広島～ソウル線」:週7往復→週9往復
- ◆チャイナエアラインとの覚書の締結(H24.9月)

H25に向けた
ポイント

○中国とのビジネス交流の拡大

- ・物産展の開催や博覧会への出展など, 継続的なプロモーション活動の展開
- ・四川事務所によるコンサルティング・ビジネスマッチング活動の展開

○海外企業とのマッチング機会の創出

- ・県内企業に対し, 海外企業との商談機会を提供

○県産品の海外販路の拡大

- ・香港・マレーシアにおける物産展や商談会の開催

○国際定期航空路線の拡充

- ・香港・タイ・ベトナムなど, 新規路線の開設
- ・上海線・ソウル線・台湾線など, 基幹路線のダブルデイリー化

○国際コンテナ貨物航路の拡充

- ・広島港国際コンテナターミナル運営の民営化
- ・広島港・福山港へ集荷する荷主企業に対するインセンティブ制度の創設

これまでの取組

- ◆集落法人, 農業参入企業等の育成
・集落法人 H23:215法人, H24(目標):238法人
・農業参入企業数 H23:50法人, H24(目標):61法人
- ◆農業経営者を対象とした体系的な研修を中四国地方で初めて開催【ひろしま農業経営者学校の開設】
・ひろしま農業経営者学校修了者数 H23:79名, H24(予定):80名
- ◆広島レモンのブランド化
・園地集積の仕組みの構築, 「広島レモン」販売戦略を展開(首都圏から広島レモンのPR, 販売促進活動)
- ◆広島かきの生産・販売体制の強化
・被災地と連携した消費拡大キャンペーンの実施

H25に向けた
ポイント

○経営発展を志向する意欲ある法人に対する段階的, 計画的な支援

- ・専門家を活用し, 経営発展に向けた具現性の高いロードマップの作成支援

○農業経営者の経営スキルの向上

- ・集団実践形式の研修や優良経営体等への派遣研修など, ひろしま農業経営者学校のカリキュラム充実

○広島レモンのブランド化によるかんきつ産地の育成

- ・周年供給体制を構築し, 県外主要市場によるシェアを拡大

○広島かきの生産出荷体制の強化

- ・広島かきブランドの再構築に向けた生産者と流通業者の連携強化と徹底された品質管理による広島かきの評価底上げ

これまでの取組

- ◆ 中小企業の社員派遣研修費用や、個人の学位取得(MBA, MOT等)に要する費用を助成(H24:45人)
- ◆ 人材紹介会社等を利用した中小企業等による県外の即戦力人材の確保を支援(H24:10社)
- ◆ 小中学校⇒郷土愛育成(ひろしま自慢)事業(参加213校)、県内大学留学生等を活用した小中学校向け国際交流スペースの開設(県内2箇所)
- ◆ 高等学校⇒海外高校との姉妹校提携、留学支援(各校1人を視野)
- ◆ 大学⇒県内大学への海外からの留学生受入支援と卒業後の県内企業への就職定着の拡大

H25に向けた
ポイント

○イノベーションの原動力となる県内企業における高度で多彩な産業人材の育成

- ・県内中小・中堅企業が社員育成・教育を行うための費用を支援
- ・個人がイノベーション創出に寄与する知識を習得するための費用を支援

○即戦力となるグローバル人材の確保

- ・県内企業の海外展開に必要な即戦力人材の県外からの確保を支援

○県立高校全校での海外との姉妹校締結

- ・異文化理解, コミュニケーション等の特色を活かした交流活動の全県展開

○海外留学への支援の強化～10年で1,500人

- ・大学との連携による制度面(入試等)の不安解消, 留学相談員の配置

○留学生の受入と定着の促進～5年で倍増(H22⇒26)

- ・留学生を活用した魅力発信の充実, 留学生・企業ネットワークの拡充

(2) 女性の働きやすさ日本一への挑戦

これまでの取組

- ◆ 保育ニーズの量的拡充, 多様なサービスの充実
 - ・保育所施設の増改築, 延長保育や病児・病後保育, 子育てサポート人材の養成, 放課後児童クラブ・放課後子ども教室の運営
 - [H26目標] 待機児童数 0人(広島市, 福山市を含む)
- ◆ 保育士の確保対策
 - ・「保育士人材バンク」を設立し, 求職者と求人者のマッチングをスタート(H24.7月)
- ◆ マザーズハローワーク等と連携した就職マッチング
 - ・「しごとプラザマザーズひろしま」を広島市内に開設(H24.3月)
- ◆ 子育てしやすい職場環境の整備促進
 - ・意識啓発キャンペーン, 男性の育児休業の取得支援, 事業所内保育所施設の設置助成

H25に向けた
ポイント

○待機児童の解消と未然防止

- ・ハード対策に加え, ソフト対策での補完による待機児童解消
- [ハード対策]～保育所新設, 分園設置, 施設老朽対策による保育定員の増加
- [ソフト対策]～保育士不在による定員割保育所の解消
- ～保護者へ情報提供し, 要望に即した保育所への入所案内を行う保育コンシェルジュの配置

○多様な保育サービスの充実

- ・子育てしながら就業している女性の多様なニーズに即した夜間保育や休日保育などのサービスを充実

○女性の就業継続と仕事と家庭の両立支援

- ・離職防止に向けた研修会や個別相談会を実施し, 就業継続支援を拡充

○子育てに配慮した住環境の整備

- ・ひろしま版子育てしやすい住まい環境の認定制度創設

これまでの取組

- ◆広島県出身学生が多い関西の大学での県内企業就職説明会(オンキャンパス・リクルーティング)
- ◆県内企業による大学での出前講座, インターンシップの実施
 - ・県内産業の特色や企業の紹介等の出前講座を実施
 - ・県内理工系大学等で座学とインターンシップを組み合わせた講座を実施
- ◆県内大学の連携による人材育成プログラムの開発・実施
 - ・プログラム内容:グローバル人材育成, グローバルマネジメント, 企業経営とイノベーション等

H25に向けた
ポイント

- 新卒大学生等の県内企業への就職促進**
 - ・県内外の大学生等に対し, 県内企業の魅力を発信し, U・Iターン就職を促進
- 就労セカンドチャンスや多様な働き方を奨励する仕組みの検討**
 - ・ベストプラクティスの発信による経営層の意識改革
- 県内企業のインターンシップ促進**
 - ・受入企業, 派遣学生のマッチングを行う窓口の設置等によるインターンシップ促進
- 県内大学の共用サテライトキャンパスの開設, 運用(市内中心部)**
 - ・企業が求める即戦力の育成に重点を置いた単位互換講座等を実施

これまでの取組

【小中高等学校段階】

- ◆生徒指導上課題を抱える学校(小:34校, 中:15校, 高:12校)において,社会参加の意欲や態度など,社会性等の育成に向けた体験活動の実施支援
- ◆公立小学校5年生を対象に自然を活用した学習など, 長期宿泊型(3泊4日)体験活動の推進(68校)
- ◆全公立小中学校対象の「基礎・基本」定着状況調査の結果を検証し, 各学校の主体的な授業改善を推進。特に課題のある学校に対する集中的な対策の実施
- ◆全県立高校対象の共通学力テストの結果を検証し, 各校主体の授業改善を推進「トップリーダー校(6)」、「チャレンジ校(15)」、「ステップアップ校(15)」を指定し, 習熟度別対策
- ◆高校生によるビジネスプランの作成及び地元企業等と連携した企業活動の実践

H25に向けた
ポイント

- 恒常的に課題を抱える学校の生徒指導体制の早期回復【緊急重点支援】**
 - ・問題行動の事例に応じ, 外部専門家チームの派遣や警察OBの派遣
- 小学校における長期宿泊体験活動(3泊4日)の本格実施【全校】**
 - ・コミュニケーション力, 主体的な課題解決力等を育む体験活動の全校展開
- 小・中・高一貫したチャレンジ精神の育成**
 - ・小中高の発達段階に応じた教育カリキュラムの開発・実践
- ひろしま学校給食100万食プロジェクトの実施**

【大学段階】

- ◆県内大学連携による人材育成プログラムの開発・実施

H25に向けた
ポイント

- 県内大学の共用サテライトキャンパスの開設, 運用(市内中心部)**
 - ・企業が求める即戦力の育成に重点を置いた単位互換講座等を実施

これまでの取組

- ◆医療連携体制の構築
 - ・都市部に集中する4基幹病院(広島大学病院, 県立広島病院, 広島市立広島市民病院及び広島赤十字・原爆病院)の機能分担・連携に向けて, 患者推計や医療需給見通しなどの調査・分析を開始
- ◆包括的ケアマネジメントの推進
 - ・医療, 介護, 予防, 生活支援サービス等の切れ目ない提供に向け, 全国的に見て先進的な取組となる「広島県地域包括ケア推進センター」を設置し(H24.6月), 医療・介護連携等による地域包括ケア体制構築の支援に着手

H25に向けた
ポイント

- 都市部の医療体制の再構築
 - ・県民が安心して医療サービスを受けられ, 医療者にとって魅力のある高度な医療提供体制の構築に向け, 広島都市圏の医療機能のあるべき姿を具体化
- 救急医療体制の確保
 - ・二次救急医療体制や小児二次医療救急体制の空白日解消に向けた医師確保
- 地域包括ケアシステムの構築
 - ・県内のそれぞれの圏域の特性や医療・介護・福祉の資源状況に応じた地域包括ケアシステムを構築するためのロードマップの作成と実現に向けた市町支援
- 医療機器等の開発に向けた治験体制の構築
 - ・医療機器等の開発を円滑に進めるための治験受託体制の整備と人材育成

これまでの取組

- ◆がん検診受診率向上対策
 - ・無関心層にも届く強力なメッセージを発信するとともに, 細分化したターゲット(職域, 事業者, 主婦, 高齢者)に応じたきめ細かい普及啓発活動を実施
 - [H24目標] がん検診受診率 50%(胃がん, 肺がん, 大腸がん, 子宮がん, 乳がん)
- ◆がん医療連携体制の整備
 - ・5大がん全てのがん医療ネットワークの構築に向けて, 県内医療機関へ医療機器等の調査を実施
 - [H24目標] がん医療ネットワークの確立 5大がん全て(胃がん, 肺がん, 大腸がん, 子宮がん, 乳がん)
- ◆放射線治療提供体制の整備
 - ・先端的ながん医療を行う高精度放射線治療センター(仮称)を整備中(平成27年度運用開始予定)

H25に向けた
ポイント

- がん対策におけるそれぞれのステージに応じた具体的な取組を強化
 - ・「がん予防」～たばこ対策の強化
 - 禁煙支援の推進, 取組が遅れている飲食店等での受動喫煙防止の推進
 - ・「がん検診」～がん検診受診率の向上
 - がん検診の実施主体である市町が行う個別受診勧奨に対する総合支援
 - ・「がん医療」～更なる拠点性強化
 - 先端的ながん医療を行う高精度放射線治療センター(仮称)の整備
 - 小児がん医療の集約化による医療水準の向上
 - ・「緩和ケア」～医療・介護等の連携による在宅緩和ケア推進
 - 拠点病院を中心に, 医療・介護・福祉が連携した在宅受入れ体制の構築
 - ・「相談支援」～ピアサポートの充実と患者団体の活動活性化
 - 仕事と治療の両立に向けて民間企業・団体や医療機関への啓発を実施

これまでの取組

◆再生可能エネルギーの導入促進に向けた検討会の開催

H23 住宅用太陽光発電普及拡大策の検討

H24 事業用太陽光発電, 木質バイオマス発電, 小水力発電の普及拡大策の検討

H25に向けた
ポイント

○地域還元型再生可能エネルギーの導入(メガソーラー)

・電力買取制度による特定事業者の利益を県民へ還元する仕組みづくり

○小水力発電等の普及促進

・既存ダムを活用した小水力発電等を検討

これまでの取組

◆内閣府による南海トラフの巨大地震モデルを踏まえ, 地震被害想定等の見直しを実施

◆大規模災害発生時の迅速かつ円滑な災害支援活動に資するため, 広域的な観点から新たな広域緊急輸送道路ネットワーク計画を策定

◆活動が進んでいない自主防災組織に対する実践的な指導や助言により, 自主防災組織を活性化に向けた取組を推進 (H24:2組織を活性化)

◆想定を超える災害においても災害対策本部の機能を確保するため, 防災拠点の整備や通信手段の確保対策を実施

H25に向けた
ポイント

○自主防災組織の活性化

・育成した新たな防災リーダーが, そのマニュアルを用いて他の自主防災組織を指導・助言することにより, 自主防災組織の活性化の連鎖を進め, 県全体への波及を図る

○防災拠点の機能確保

・あらゆる災害時においても, 災害対応が可能となるように, 災害対策本部・支部の機能を確保するため, 防災拠点の整備等を引続き実施

○地域の業務継続力の向上

・市町や生活必需品関連企業等の業務継続計画の策定を支援するとともに, 大規模災害発生時において, 県・市町・民間企業が連携し, 地域全体の事業活動等を継続させるための勉強会等を実施

これまでの取組

- ◆広島都市圏の活性化策の調査・検討を実施(H24:「都市圏魅力づくり推進課」新設)
- ◆魅力ある中山間地域の形成に向け、産業対策を基本とした総合的な取組を行う全過疎市町を支援(全域過疎:9市町)
- ◆住民自治組織が実施する過疎地域の生活課題の解決に向けた先導的な取組を支援
- ◆尾道松江線周辺地域の活性化方策の検討
- ◆公共交通ネットワークの乗換改善に向けた課題抽出と解決策の検討

H25に向けた
ポイント

○「広島都市圏における魅力創造戦略」の具体化

- ・市内中心部、西飛行場跡地の跡地活用検討、平和記念公園周辺地区の活性化、
- ・魅力ある建築物の創造

○過疎市町の「未来創造計画」の取組支援

- ・中山間地域の活力創出に向けた市町の総合的取組をバックアップ

○「生活支援モデル事業」の取組支援と普及

- ・中山間地域の生活課題の解決に向けた住民自治組織の取組支援、他の地域への普及に向けたモデル事業の取組PR

○尾道松江線周辺地域の活性化を促す取組の推進

- ・H26全線供用開始に向け、島根県及び沿線市町と連携して情報発信、物産フェア実施

○地域協働型政策形成の促進

- ・市町と一体となった《政策甲子園》の実施検討

○公共交通ネットワーク情報の提供と移動活発化の推進

- ・県内全路線の乗換検索システムをベースにした乗換改善の検討
- ・乗換改善と連動したバス停表示などの統一フォーマット化

これまでの取組

- ◆「国際平和拠点ひろしま構想」を策定し、知事が国連本部等でアピールし広く世界に発信
- ◆構想に掲げる広島が果たすべき5つの役割に沿って、広島市や関係団体とも連携しながら事業を展開(核軍縮のための非政府レベルによる多国間協議(ひろしまラウンドテーブル)の開催準備やNPT運用検討会議での合意に基づく各国の核軍縮・不拡散取組状況の評価・発信の検討、国際フォーラムの開催等)
- ◆『「国際平和拠点ひろしま構想」推進指針(ガイドライン)』を策定し、構想の具体化の方向性を示すとともに、知事が国連欧州本部等で構想を広く発信し関係機関へ協力を要請
- ◆構想を世界に発信するための、「ひろしま平和発信コンサート」の開催に向けた準備と機運の醸成のための各種事業を展開するとともに、資金調達に向けた取組を実施

H25に向けた
ポイント

○国際平和拠点ひろしま構想の推進

- ・核軍縮のための非政府レベルによる多国間協議の開催
- ・核セキュリティ国際共同研究に係るシンポジウムの開催
- ・平和構築人材の育成・強化
- ・ひろしまの復興プロセスの調査・研究
- ・平和支援メカニズムの構築に向けた調査

○ひろしま平和発信コンサートの開催(平成25年夏)

- ・グローバルコンサートの開催
- ・関連イベントの開催
- ・イベントやメディア等を最大限活用したPRIによる機運の醸成